

# せき損センターだより No.60

(糸島市 雷山千如寺大悲王院)



## 理念

「受診してよかった」と思われる病院でありたい

## 基本方針

- 1 背髄損傷の専門病院であることを自覚し、救命救急の初期治療から社会復帰まで一貫した医療を行います
- 2 患者さんの人権を尊重した医療を実現します
- 3 安全で良質な医療を行います
- 4 高度な背髄損傷医療の普及に努めます

## 前立腺肥大症の新しい手術療法：接触式レーザー前立腺蒸散術

泌尿器科部長 高橋 良輔



前立腺は男性生殖器のひとつで精液の一部を作っています。精液中の20%前後が前立腺液といわれており、精子を保護し精子の活動を活発にする役割を担っています。一般的な成人前立腺の大きさは約20mlで、「クルミ大」と表現されます。前立腺肥大症は、この前立腺が肥大して大きくなることで排尿症状を引き起こす病気です。膀胱の出口で尿道を取り囲むように存在するため、前立腺が肥大すると尿道を圧迫してさまざまな症状がでてきます。治療としては、尿道の閉塞を緩和する、あるいは前立腺を縮小させる内服薬を用いることが多いですが、それでも症状の改善が思わしくないこともあります。このような場合、手術療法を検討します。これまでは尿道から挿入した内視鏡を用いて、尿道内腔から電気メスで肥大した前立腺組織を少しずつ切除する方法が一般的でしたが、近年欧米ではレーザーを用いた蒸散手術が主流となっています。当院も筑豊地区で初めてレーザー前立腺蒸散術を開始しました。強い蒸散力と止血効果を併せ持つため、以前の手術に比べて出血や術後の痛みが少なく、術後の尿道カテーテル留置期間も短くてすみます（通常1-2日）。興味のある方はお気軽にお問合せ下さい。



新生 総合せき損センター  
前院長 故 芝啓一郎先生の3回忌を迎えて



第5 整形外科部長 森下雄一郎

総合せき損センターは、1979年6月に福岡県飯塚市に開設以来、数多くの患者を治療してきました。脊髄損傷の専門病院としては我が国第一号施設であり、開院以来、日本の脊椎・脊髄損傷のみならず、脊椎変性疾患の診断・治療を牽引してきた自負があります。その礎を築かれたのが故 芝啓一郎先生です。1982年より当院常勤医となり、整形外科部長、副院長を歴任され、2008年より院長となりました。

私自身、2010年に当院へ赴任以来、公私ともに大変お世話になりました。時には厳しい上司、時には色々なことを語り合える友のように接して頂いて、私にとっては偉大な指導者、恩師でありました。

2014年夏でした。芝先生の身体に異変がおこり、精査したところ食道癌の診断です。パニックになる我々を余所に、芝先生は達観されておりました。化学療法と放射線治療を開始しましたが、以前と同じように激務をこなされ、アフター5は我々につき合って頂き、このまま何もおこらずにずっとこの関係が続くのではないかと錯覚するほどでした。しかし、そのときが2017年の夏頃にやってきました。最後まで総合せき損センターのこれからのこと、我々のことを第一に考えておられました。壮絶な闘病生活は2017年10月14日に終わります。苦しむことなく安らかに天国へ旅立たれました。飯塚病院で息をひきとられ、同日深夜に霊柩車で芝先生の故郷である総合せき損センターのターミナルをクラクションを鳴らされながら廻られた風景は忘れられません。沢山泣きました。

今年の10月14日で芝啓一郎先生の3回忌を迎えました。我々は芝先生のことを引き継ぎ、頑張っています。院長代理として前田健先生、副院長として河野修先生、整形外科部長として森英治先生、以下、高尾恒彰先生、坂井宏旭先生、益田宗彰先生、私 森下雄一郎、林哲生先生、久保田健介先生、小早川和先生の10名の常勤脊椎外科医と九州大学整形外科から5名、福岡大学整形外科から1名の研修医を含めた整形外科医総16名、さらに泌尿器科も2名体制で新生せき損センターを盛り立てています。

これまでの芝先生の築き上げられた総合せき損センターの伝統を護り続け、さらなる前進を目指して頑張っています。これからも総合せき損センターをよろしくをお願いします。







## 当センターの外出リハビリテーションについて

中央リハビリテーション部 作業療法士 小川 栄美子

入院中に退院後の生活を想像しながらリハビリテーションを実施していくことは、患者様にとって非常に重要なことです。

当院ではリハビリテーションを実施する場所を病院内のみではなく、病院外も含めて練習場所として考え、院外での移動手段の獲得、復職準備、家事動作等の生活関連動作の獲得を目指し、より行動範囲の拡大を図ることを目的とし、外出リハビリテーションを行っています。



では、外出してみよう！！

目的の交通機関に乗るためには、まずバス停・バスターミナルへ行くための道路の横断、エレベーターの利用、券売機、改札機の利用等々、そこにたどり着くまでに様々な動作を必要とします。

### ●道路

歩道は、車道側に傾いている場合が多く、意識しないと車道の方角に行ってしまう。また小さな段差や点字ブロックに車輪が引っ掛かり思うように進めません。

凸凹した道路を自走することで、恐怖感を覚えてしまい、外出を避けるようになってしまう事も少なくありません。



## ●凸凹道や段差を走行するには？

車椅子の前輪キャスターを浮かせて段差を超えたり、砂利などの不整地を走行するために必要な車いすの応用動作を用います。



## ●ショッピングセンター

自動開閉でないドアだと、一人で開けるのが困難です。またスロープの昇降、障がい者用トイレの移乗等、院内で獲得した動作が出来るのか一緒に確認し、安心して外出できるようサポートしていきます。



## ●バス

車いすユーザーはどうやってバスに乗るのでしょうか。

まず車いす対応マークの付いたバスの利用が可能です。運転手がスロープを準備し、介助の必要な方は、介助者もしくは運転手介助にて乗車します。車内に乗り込んだ後、車いすの固定を行い出発します。(バス事業者、バスの種類によって手順・固定の方法が異なる場合があります)



車いすの患者様だけでなく、杖歩行の患者様、また電動車いすの患者様、家族の介助方法の指導まで患者様に合わせた外出練習を提案していきます。退院後に「近所のスーパーまで一人で買い物に行けるようになりたい」とか、「バスに乗って通勤したい」など、患者様にとっての必要な生活スタイルを安全に行えるように、地域で生き生きと生活していけるように少しでもお役に立てれば幸いです。



# せき損式スライディングボードのご紹介

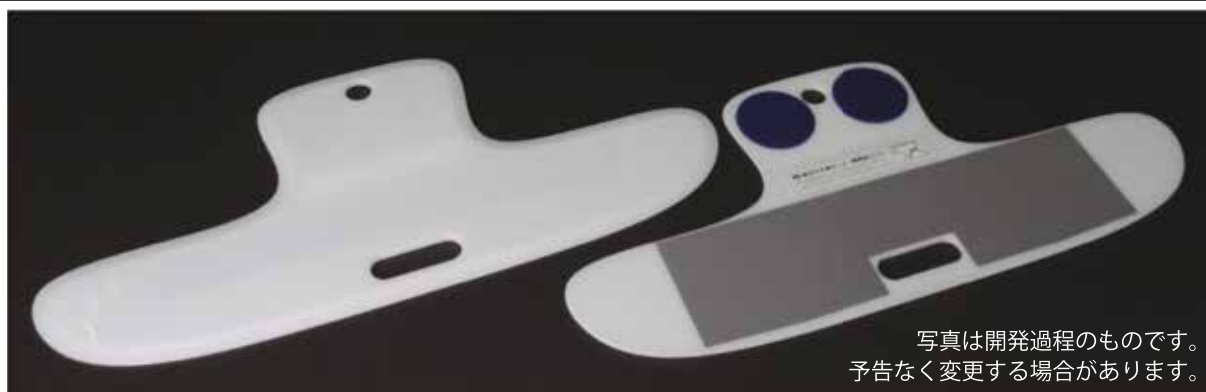
医用工学研究室  
片本 隆二



## 車いすのタイヤを避ける独自形状 せき損式スライディングボード 介助者と介助される側の負担軽減のために

目標 2万円で商品化

ボード上に臀部を滑らせ、側方移乗の自立や介助を簡便化する道具です。従来品は長方形で、車いすのタイヤなどに干渉し、抜き差しが困難でした。総合せき損センターにて、車いすのタイヤを避ける独自形状のボードを開発しました。従来品同様、脊髄損傷者に限らずご利用いただけます。意匠3件登録、特許出願済み。



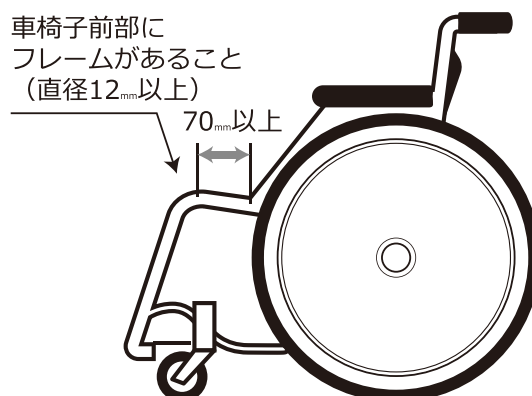
写真は開発過程のものです。  
予告なく変更する場合があります。

### □ 特徴

- タイヤを避ける独自形状で  
差し込み簡便、より安全に、より楽に
- 指のかけやすさを配慮  
角は緩やかで滑らか
- 2種類の滑り止めで、ふたつの使い方
- 使い方アドバンスは車いすフレーム上  
(クッション下) に置くだけ

### □ 注意事項

- 側方移乗に不向きな車いすや  
使用環境でのご利用には適しません
- ご利用可能な車いすの目安





## ① 車いすからベッドへの移乗：前方介助

●スライディングボードや介助ベルトを使用すると、より安全に、より楽に移乗できます。

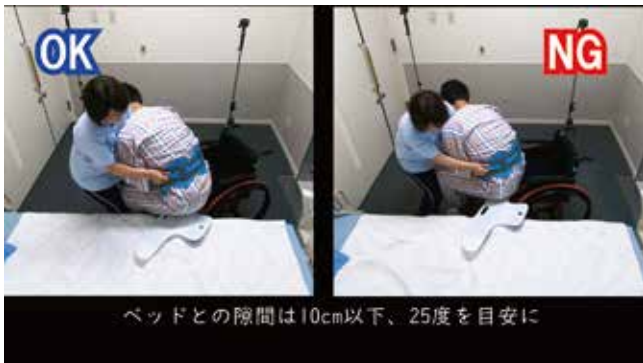


図1

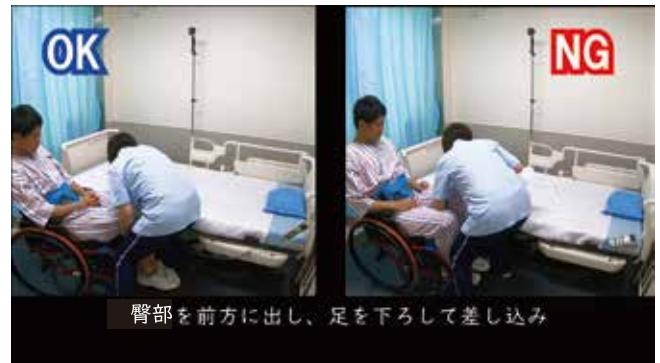


図2



図3

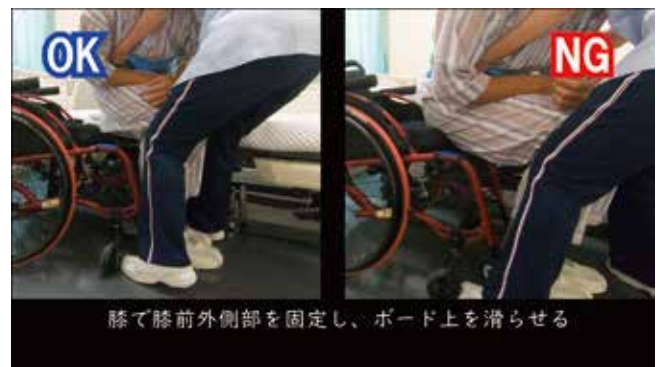


図4

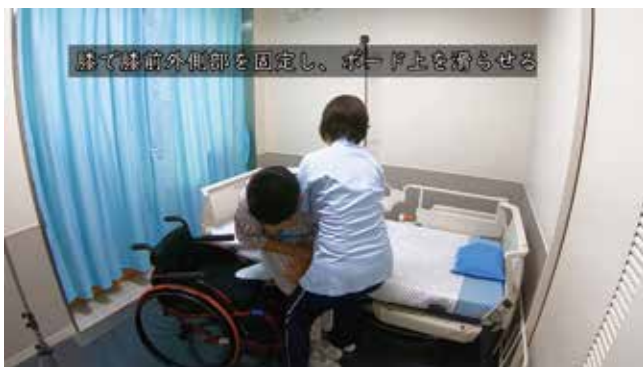


図5

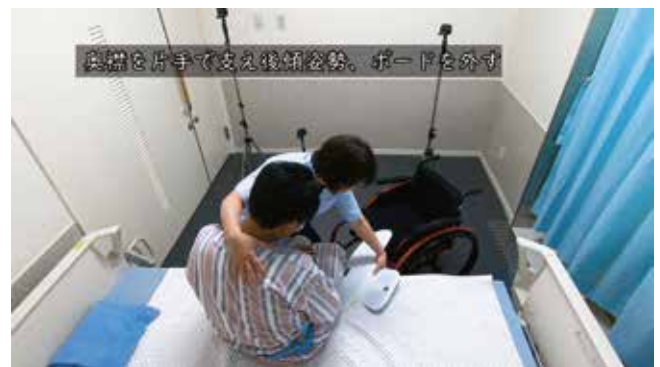


図6

- ベッドとの隙間は10cm以下、25度を目安に、車いすをよせ、ブレーキをかける（図1）。
- 介助者は対象者の臀部を前方に出し、両下肢を床に下ろす（図2）。  
介助者は対象者の大腿部を抱えて、ボードを差し込む（先に両下肢を下ろしていない場合は後転注意）。
- 介助者はベッドと対象者の間に入りながら、腰周辺に持ち替える（支えるために片手つつ）（図3）。
- 介助者は膝で対象者の膝前外側部を固定し、ボード上を滑らせる（図4・図5）。
- 介助者は対象者の奥襟を片手で支え後傾姿勢、ボードを外し、座位を安定させる（図6）。

## 外来担当表

令和元年12月1日～

| 診療科                      | 曜日 | 月   | 火   | 水   | 木   | 金   |
|--------------------------|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 整形外科<br>(再診のみ予約制)<br>リハ科 |    | 小早川 | 林   | 森   | 林   | 森   |
|                          |    | 森下  | 森下  | 交代制 | 小早川 | 交代制 |
|                          |    | 高尾  | 交代制 | 久保田 | 高尾  | 久保田 |
|                          |    | 坂井  | 河野  | 金山  | 坂井  | 河野  |
|                          |    | 前田  | 益田  | 益田  | 前田  | 金山  |
| 泌尿器科<br>(再診のみ予約制)        |    | 高橋  | 牧   | 高橋  | 高橋  | 牧   |
|                          |    | 牧   | 高橋  | 牧   |     | 高橋  |

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| ○診療科<br>整形外科<br>泌尿器科<br>リハビリテーション科 | 診療受付時間<br>(月曜日から金曜日)<br>新患 8:30～10:30<br>再来 8:30～11:30  |
|                                    | 休診日<br>土・日曜日及び祝日<br>年末年始(12月29日～1月3日)   |
|                                    | 宿泊施設<br>遠方からの受診者宿泊施設として厚生棟<br>(はなみずき)をご用意しております。ご利用の方は総務課までお申し出ください。<br>(申込受付時間:平日8:30～17:00) |

- ◎泌尿器科は再来のみ時間帯予約制です。
- ◎整形外科は再来のみ時間帯予約制です。

TEL0948-24-7500(14時～16時予約・変更受付)  
TEL0948-24-7500(14時～16時予約・変更受付)

### 周辺地図

福岡方面  
からお越しの方

**JR+西鉄バスの場合**

- JR「博多駅」→福北ゆたか線/快速40分→「新飯塚駅」下車
- 西鉄バス「新飯塚駅」→(飯塚行き等/10分→「飯塚バスセンター」にて乗換「飯塚バスセンター」→(福祉センター行き/20分)→「せき損センター」下車

北九州方面  
からお越しの方

**JR+西鉄バスの場合**

- JR「小倉駅」→鹿児島本線/20分→「折尾駅」にて乗換(新飯塚駅直通も有)「折尾駅」→(福北ゆたか線/40分)→「新飯塚駅」にて下車
- 西鉄バス「新飯塚駅」→(飯塚行き等/10分→「飯塚バスセンター」にて乗換「飯塚バスセンター」→(福祉センター行き/20分)→「せき損センター」下車



SPINAL INJURIES CENTER  
独立行政法人労働者健康安全機構  
総合せき損センター

〒820-8508 福岡県飯塚市伊岐須550-4  
TEL 0948-24-7500 FAX 0948-29-1065  
ホームページアドレス <https://seki.sonh.johas.go.jp/>  
発行責任者: 院長代理 前田 健